

校長の想い 12月

## 勉強と思うな人生だと思え！

こんにちは。「師走」となりました。

神津島にも冬の西風が「ぼくの事を忘れないで！」と言わんばかりに吹き荒れる季節になりました。どうか体調を崩されることのないようにお過ごしください。

さて、題目の「勉強と思うな人生だと思え！」という言葉は、我々教職員に向けては「仕事と思うな人生だと思え！」となりますが、これは私が作った言葉ではありません。

この言葉は、私が某都立高校の主幹教諭の時に、その学校に新規採用者として赴任してきた、ある男性教諭の日記の余白に書いてあったものです。

彼はとても高い志を持った好青年でした。年齢は自分の息子ぐらい離れていますが、彼と話をしていると時間を忘れるほど話が進みました。

私は、彼のような高い志をもった若者が大好きだからです。

ある日のこと「世の中で成功した人は、必ず日記を書いています。」と言って彼の書いている日記を見せてもらったことがありました。その時に出会った言葉です。

一目で、とても良い言葉だなあと感じましたので私も使わせてもらっています。

「〇〇と思うな人生だと思え！」と〇〇の所に文字を置き換えれば、いろいろな事に応用できます。彼の影響をうけて、私はオリジナルノートを作りました。そのノートの欄外には一枚一枚に「校務と思うな人生だと思え」と書きました。

何事もこれが自分の人生だと思えば、前向きに取り組めます。前向きに取り組めれば、周り全体の士気が高まり、それを見て「自分も頑張ろう！」と気持ちの良い循環になるものです。

大学受験のためだけの勉強ではない。お金を得るためだけの仕事ではない。

すべての行動を、「その行動は自分の人生そのものなのだ」と考えることによって、有意義な日々を過ごせることにつながると私は信じています。

良い年をお迎えください。